

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第4区分

【発行日】平成21年7月2日(2009.7.2)

【公表番号】特表2008-539106(P2008-539106A)

【公表日】平成20年11月13日(2008.11.13)

【年通号数】公開・登録公報2008-045

【出願番号】特願2008-508973(P2008-508973)

【国際特許分類】

B 3 2 B	5/24	(2006.01)
D 0 4 H	3/00	(2006.01)
D 0 4 H	3/16	(2006.01)
A 6 1 F	13/49	(2006.01)
A 6 1 F	13/514	(2006.01)
A 6 1 F	13/02	(2006.01)
A 6 1 F	13/15	(2006.01)

【F I】

B 3 2 B	5/24	
D 0 4 H	3/00	D
D 0 4 H	3/16	
A 4 1 B	13/02	F
A 6 1 F	13/02	A
A 4 1 B	13/02	T

【手続補正書】

【提出日】平成21年4月21日(2009.4.21)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

潜在的弾性を有する複合不織布であつて、

熱可塑性エラストマーを含む第一成分とシングルサイト触媒により得られるポリオレフィンを含む第二成分を含む潜在的弾性芯と、

前記弾性芯に積層された少なくとも1つのギャザー寄せ可能な表面材料と、
を含むことを特徴とする複合不織布。

【請求項2】

前記熱可塑性エラストマーは、スチレン系ブロックコポリマーを含むことを特徴とする
請求項1に記載の潜在的弾性を有する複合不織布。

【請求項3】

前記第一成分は、スチレン系ブロックコポリマーを含む第一フィラメント及び前記シングルサイト触媒により得られるポリオレフィンを含む第二フィラメントを含むことを特徴とする請求項1に記載の潜在的弾性を有する複合不織布。

【請求項4】

前記第一フィラメントは、前記潜在的弾性芯の実質的には機械方向に向けられる連続するフィラメントであることを特徴とする請求項3に記載の潜在的弾性を有する複合不織布。

【請求項5】

前記第二フィラメントは、前記潜在的弹性芯の実質的には機械方向に向けられる連続するフィラメントであることを特徴とする請求項3に記載の潜在的弹性を有する複合不織布。

【請求項6】

前記第二フィラメントは、メルトプローンフィラメントであることを特徴とする請求項3に記載の潜在的弹性を有する複合不織布。

【請求項7】

前記潜在的弹性芯は、前記スチレン系ブロックコポリマー及び前記シングルサイト触媒により得られるポリオレフィンを含む、連続する複合フィラメントを含むことを特徴とする請求項2に記載の潜在的弹性を有する複合不織布。

【請求項8】

潜在的弹性を有する複合不織布の形成法であって、

a) 熱可塑性エラストマー及びシングルサイト触媒により得られるポリオレフィンを含む弹性芯不織成物を押し出し、

b) 前記弹性芯不織成物を冷却して、延伸し、

c) 少なくとも1つのギャザー寄せ可能な表面材料を準備し、

d) 前記弹性芯不織成物を前記ギャザー寄せ可能な表面材料に積層して、潜在的弹性を有する前記複合不織布を形成する、

段階を含むことを特徴とする方法。

【請求項9】

前記熱可塑性エラストマーは、スチレン系ブロックコポリマーを含むことを特徴とする請求項8に記載の潜在的弹性を有する複合不織布の形成法。

【請求項10】

前記弹性芯不織成物は、スチレン系ブロックコポリマーを含む第一フィラメント及び前記シングルサイト触媒により得られるポリオレフィンを含む第二フィラメントを含むことを特徴とする請求項8に記載の潜在的弹性を有する複合不織布の形成法。

【請求項11】

前記弹性芯は、前記スチレン系ブロックコポリマー及び前記シングルサイト触媒により得られるポリオレフィンを含む連続する複合フィラメントを含むことを特徴とする請求項9に記載の潜在的弹性を有する複合不織布の形成法。

【請求項12】

前記弹性芯不織成物を前記ギャザー寄せ可能な表面材料に積層する前に、前記ギャザー寄せ可能な表面材料の前記表面に接着剤を塗布する段階を、更に含むことを特徴とする請求項8に記載の潜在的弹性を有する複合不織布の形成法。

【請求項13】

前記接着剤は、前記ギャザー寄せ可能な表面材料にスプレー塗布されることを特徴とする請求項12に記載の潜在的弹性を有する複合不織布の形成法。

【請求項14】

潜在的弹性を有する複合不織布を含む個人用ケア製品であって、

熱可塑性エラストマー及びシングルサイト触媒により得られるポリオレフィンを含む潜在的弹性芯と、

前記弹性芯に積層された少なくとも1つのギャザー寄せ可能な表面材料と、
を含む、潜在的弹性を有する復号不織布から構成された個人用ケア製品。

【請求項15】

前記熱可塑性エラストマーは、スチレン系ブロックコポリマーを含むことを特徴とする請求項14に記載の潜在的弹性を有する複合不織布を含む個人用ケア製品。

【請求項16】

前記潜在的弹性芯は、スチレン系ブロックコポリマーを含む第一フィラメント及び前記シングルサイト触媒により得られるポリオレフィンを含む第二フィラメントを含むことを特徴とする請求項14に記載の潜在的弹性を有する複合不織布を含む個人用ケア製品。

【請求項 17】

個人用ケア一製品の形成法であつて、

a) 潜在的弾性を有する複合不織布を準備し、前記複合不織布は、熱可塑性エラストマー及びシングルサイト触媒により得られるポリオレフィンを含む潜在的弾性芯と、前記弾性芯に積層される少なくとも1つのギャザー寄せ可能な表面材料とを含み、

b) 前記複合不織布を個人用ケア一製品に縫結し、

c) 前記複合不織布を活性化し、

d) 前記複合不織布を収縮させて、前記複合不織布の延伸可能性を増進させる、段階から成ることを特徴とする方法。

【請求項 18】

前記熱可塑性エラストマーは、スチレン系ブロックコポリマーを含むことを特徴とする請求項17に記載の潜在的弾性を有する複合不織布を含む個人用ケア一製品。

【請求項 19】

前記潜在的弾性芯は、スチレン系ブロックコポリマーを含む第一フィラメント及び前記シングルサイト触媒により得られるポリオレフィンを含む第二フィラメントを含むことを特徴とする請求項17に記載の個人用ケア一製品の形成法。

【請求項 20】

前記潜在的弾性芯は、前記スチレン系ブロックコポリマーと前記シングルサイト触媒により得られるポリオレフィンを含む連続する混合フィラメントを含むことを特徴とする請求項18に記載の個人用ケア一製品の形成法。